

ジャパンプライド育成委員会 事業報告

委員長 松本 奉幸

昨年度、ジャパンプライド育成委員会では、次代を担う子どもたちに、将来この国を、そしてこのまちを明るい豊かな社会へと導くための、日本人としての誇りと、自信を喚起させる事業を行いました。

4月第一例会「みんなで灯そう！日本のみらい 日本のこころ育成プロジェクト～第一章 子どもたちに伝えたい、日本の素晴らしさ～」では、子どもに携わる大人たちに、自国に対する誇りと自信を持ち、子どもたちを育てていくという意識を醸成することを目的に、日本の伝統的な色染めである藍染の体験、西川理事長と吉木誉絵さんの対談、日本神話（いなばのしろうさぎ）の読み語り、佐久弥レイさんの歌のパフォーマンスを通して、参加者に日本の伝統、文化、精神性を体感、実践して頂き、事業を通して特に対象である保護者にジャパンプライドを喚起させることが出来たと考えます。

また、9月第一例会「みんなで灯そう！日本のみらい 日本のこころ育成プロジェクト～第二章 たたいて学ぼう！日本の良さを再発見～」では、子どもたちにジャパンプライドを持って率先して行動してもらうことを目的に、和太鼓を通して、日本の伝統、文化、精神性を伝える事業を開催しました。8月1日から9月16日までの1カ月半の間に、計8回にもおよぶ練習を行い、9月18日の浦安フェスティバルのステージでは、子どもたち57名が4グループに分かれて和太鼓の演奏を行いました。事業は和太鼓の練習を行うだけでなく、練習期間中に学んだ和太鼓の歴史や文化を模造紙にまとめ、浦安フェスティバルの和太鼓ブース内で自ら説明してもらいました。事業を通して子どもたちが自ら考え率先して行動するという目的を達成出来たと思います。

そして、10月第一例会「みんなで灯そう！日本のみらい 日本のこころ育成プロジェクト～第三章 学んで伝えよう日本のすごさ再発見！～」では、日本人としての誇りと自信を醸成することを目的に、堀江中学校1年生の授業参観の時間を2時間お借りして日本JC推奨プログラム「真の国際人育成プログラム」を活用した事業を開催しました。向後千里さん、大塚玲奈さん、グスタフ・ストランデル先輩をお招きし、和食から見る日本の素晴らしい風習、文化、海外から見た日本の素晴らしさなどについて伝えていただきました。その後に行ったグループディスカッションでは、小グループに分けて「日本の良さとは何か？」をテーマに、個々人が考える日本の良さについて、発表をしてもらい、日本の伝統、文化、精神性の素晴らしさを再発見してもらいました。事業に参加した中学1年生に対し、日本人としてのアイデンティティの重要性を伝えることが出来たのではないかと考えます。

一年間の事業を通して子どもたちに日本の伝統、文化、精神性を体験してもらい、日本の良さを学ぶ過程で、日本人としての誇りと自信をもち、主体的、能動的に行動できる人材を育むことが出来たと思います。

最後に、青少年委員会の事業には子どもたちだけでなく、多くの保護者や学校関係の方々にも参加していただきました。そして、各事業にご協力いただきました各種団体、企業、行政の皆様、浦安青年会議所メンバーのサポートのおかげで、今年度多くの事業を円滑に進めることができました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。